

## 小学部 第3学年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和7年10月28日（火）11：05～11：50

場 所：小学部校舎 3年1組教室

指導者：佐々木麗子（T1）、眞坂糸美（T2）

進藤由衣（T3）

### 1 単元名 「ぐんぐんちゃれんじ おみせやさん②～ドーナツやさん～」

### 2 目標

- (1) お店屋さんごっこを通して接客の手順を知り、必要なやりとりが分かる。 知 技
- (2) 自分が作りたいものを言葉で伝えたり、複数の選択肢の中から選んだりして、お店屋さんごっこに必要なものを協力して作る。 思判表
- (3) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、自分の役割に取り組もうとする。 学 人

### 3 児童と単元について

#### (1) 児童観

本学級は、知的障害を有する3年生女子4名からなる。そのうち1名は、車椅子を使用しており、身辺処理などほぼ全ての場面で支援を必要とする。コミュニケーション面では、2名は、親しい友人や慣れている教師に対しては、自分から積極的に話し掛け、会話を楽しむ姿が見られる。1名は、学校生活においては、積極的な発話はあまり見られないものの、教師の問いにうなずき等で答えたり、遊びの中でふとしたときに言葉を発したりする様子が見られる。車椅子使用の児童に関しては、慣れ親しんだ相手に対し、関わりを求めて手を伸ばしたり、呼び掛けるように発声したりする様子が見られる。また、校外学習で市内のスーパーに行き、カレー作りの材料や自分の好きなケーキを選んで支払いをし、買い物をした経験がある。

1学期の「ぐんぐんちゃれんじおみせやさん①～ケーキやさん～」では、身近な素材を使って模擬のケーキを作ってケーキ屋さんごっこを行った。学級内で教師や友達とやりとりをしてのケーキ屋さんごっこには、意欲的に取り組んだ。一方で保護者を招待してケーキ屋さんを開いた際、困ったことや分からないことがあったときに黙り込んだり、動きが止まってしまったりと人とのやりとりに戸惑う様子が見られた。

#### (2) 単元観

本単元では、「ドーナツやさん」を題材とし、自分たちで商品や看板を作り、お店屋さんごっこを行う。1学期の「けーきやさん」では、主にお客さん役を行い、十分楽しんでいた様子から今回は、接客の手順や必要な言葉のやりとりを知り、教師や友達との関わりを楽しみながら活動することを主なねらいとする。単元前半では、学級のみんなで協力し、折り紙、毛糸、ビーズ等の身近な素材を使って模擬のドーナツを作る活動を、後半は、店員役となって他学年の友達に販売する活動を取り入れる。慣れない環境や人前で自分の思いを伝えることが苦手な児童たちであるため、まずは、定型文での決まったやりとりの経験を積み重ねることで人とのやりとりに自信をもってほしいと考えた。そして、学級外の慣れない環境においても、人とやりとりする楽しさや人に喜んでもらうことのうれしさを感じながら自分の役割に取り組んでほしいと考えている。また、学級の友達と協力しながら活動したり、他学年の友達とのやりとりを経験したりすることで、今後、人との関わりを広げ、自分の思いを相手に伝えたいという気持ちを育むことにつながるのではないかと考え、本単元を設定した。

### (3) 指導観

#### お店屋さんごっこに必要な係やりとりが分かるように

- ・「いらっしゃいませ」「どうぞ」「ありがとう」などのやりとりや商品や金銭の受け渡しなどの手順表やカードを準備する。
- ・店員の仕事を分担し、話すことが得意な児童は、挨拶等の声出しや会計を担当、発話が少ない児童には、商品渡しや袋詰めなど動作を主とした役割を割り当て無理なく参加できるようにする。
- ・個々の係を顔写真や絵カードを使って視覚的に分かりやすくする。

#### 自分が作りたいものを伝えたり、選んだりするように

- ・商品、看板等の制作では、児童の興味を引くような素材やカラフルな材料を複数準備する。
- ・自分が使いたい材料を選んで教師に伝えたり、選んだりできるように、材料と一緒に材料名を書いたカードを置いておく。
- ・お客さんのことを想像しながら作るように「〇〇さんは、何が食べたいかな」などと問い掛ける。
- ・児童の自発的な表現を見逃さず、教師が児童の気持ちに共感したり、代弁したりする。

#### 教師や友達とのやりとりを楽しみながら自分の役割に取り組めるように

- ・交流回数の多い4年生にお客さんになってもらい、ドーナツ屋さんを行う設定にする。
- ・販売する場所や接客手順を絵、写真、文字で視覚化し、提示する。
- ・学級内で接客練習の場を設け、教師がお客さん役を演じる。
- ・不安を感じやすい児童には、教師がそばで見守り、気持ちを受け止めたり、代弁したりする。

## 4 指導計画（総時数 14 時間）

| 「小单元名」（時数）<br>小单元の目標  | 主な学習活動   | 観 点        |             |            | 評価規準  | 扱う教科と段階  |
|---|--|------------|-------------|------------|---|--|
|   |  | 知<br>技     | 思<br>判<br>表 | 学<br>人     |   |  |
| 「ドーナツやさんをひらこう」<br>(1)<br>・ドーナツ屋さんの活動に期待感を持ち、自分の思ったことを言葉で伝えたり、選んだりする。<br>・他学年と一緒にドーナツ屋さんをすることが分かる。                         | ・前回の「ケーキやさん」を振り返る。<br>・店の名前、作りたいもの、必要な材料を考える。<br>・ドーナツを売りたい学年を考える。           | ○          | ○           | ○          | ・新しいお店を開くことに興味をもっている。<br>・自分が作りたいものを考えている。<br>・ドーナツ屋さんの準備への見通しをもっている。   | 生活<br>【小2段階 コ (ア)】<br>【小2段階 [思判表] イ】<br>【小2段階 ウ (イ)】 |
| 「ドーナツやさんのじゅんぴをしよう」(5)<br>・4年生とドーナツ屋さんをすることに期待感をもつ。<br>・作業の手順が分かり、自分の使いたい材料を選んで模擬のドーナツを作る。<br>・役割分担をして友達と協力して看板、値札、案内状を作る。 | ・自分で使いたいものを伝えたり、選んだりする。<br>・ドーナツ屋さんに必要な商品、値札、看板、案内状を作る。<br>・作ったものを見合って感想を言う。 | ○<br><br>○ | ○<br><br>○  | ○<br><br>○ | ・ドーナツ屋さんをすることに期待感を持ち、作り方の説明に注目して見聞きしている。<br>・材料や手順が分かり、お店に必要な準備物を作っている。 | 国語<br>【小2段階 [思判表] A ア<br>図工<br>【小2段階 A (イ)】          |

|  |   |   |   |   |  |   |
|--|---|---|---|---|--|---|
| 「ドーナツやさんのれんしゅうをしよう」(4)<br>※本時 8/14<br>・自分や友達の得意なことを考え、役割を選ぶ。<br>・店員役になり、相手に伝わる声で必要な言葉を言ったり、もののやりとりをしたりしながらドーナツ屋さんの練習をする。 | ・挨拶等の声出し、商品渡し、袋詰め、会計の係からやりたいことを選ぶ。<br>・児童が店員役、教師がお客さん役になり、ドーナツ屋さんの練習をする。<br>・4年生をイメージしながら練習をする。 | ○ | ○ | ○ | ・自分の役割を果たそうとしている。<br>・手順カードを見て、挨拶、注文、お礼の言葉を相手に聞こえる声で言おうとしている。<br>・相手の言葉を聞き、金銭、商品のやりとりをしている。  | 生活<br>【小2段階エ、オ、カ(ア)、ク(イ)】<br>国語<br>【小2段階[思判表]】Aア<br>【小2段階[知技]】ア(ア)          |
| 「ドーナツやさん オープン」(2)<br>・4年生とのやりとりを楽しみながらドーナツ屋さんを行う。<br>・練習したことを生かして、自分の役割を行う。  | ・4年生に出向いてドーナツ屋さんを開く。  | ○ | ○ | ○ | ・4年生の教室に行くことに期待感をもっている。<br>・練習を思い出し、自分の役割を果たそうとしている。<br>・4年生に伝わるように話したり、相手の様子に合わせて対応したりしている。 | 生活<br>【小2段階エ、オ、カ(ア)】<br>【小2段階ク(イ)】<br>国語<br>【小2段階[思判表]】Aア<br>【小2段階[知技]】ア(ア) |
| 「たのしかったね ドーナツやさん」(2)<br>・頑張ったこと、楽しかったことをワークシートにまとめ、振り返る。   | ・「ドーナツやさん」を写真や動画で振り返る。<br>・ワークシートにまとめて発表する。   | ○ | ○ | ○ | ・写真や動画に注目して見ている。<br>・自分や友達の様子を見て、気付いたことをつぶやいている。<br>・得意な方法で振り返ったことを発表している。                   | 国語<br>【小2段階[思判表]】Aウ、Bア・ウ  |

## 5 本時の計画(8/14時間)

### (1) 本時の目標

- ・売るときに必要な言葉や自分の係を覚え、お客さん役の教師とやりとりをする。 知・技 学・人

### (2) 個別の目標(評価:◎達成できた ○おおむね達成できた △もう少しで達成できる)

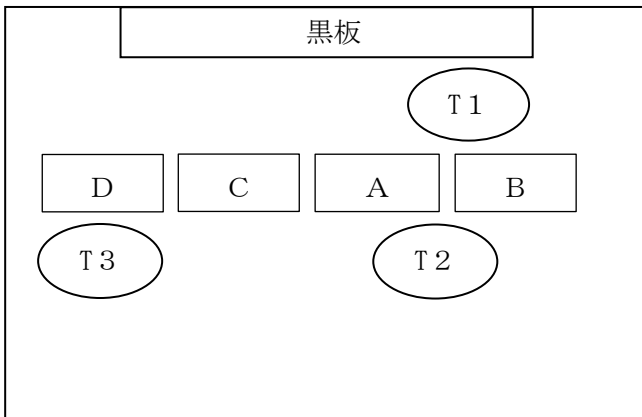
| 児童名          | 本時の主たる目標(期待する具体的な学びの姿)  | 評価 |
|--------------|---|----|
| A<br>(会計係)   | ・友達と声を合わせて「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と言う。<br>・相手に聞こえる声で「〇〇円です」とお客さんに伝え、代金を受け取る。                   |    |
| B<br>(袋詰め係)  | ・注文されたドーナツを選んで取り、袋に入れる。<br>・友達の「どうぞ」の言葉に合わせて、商品をお客さんに手渡す。                                     |    |
| C<br>(リーダー)  | ・学級の友達をリードしながら「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と言う。<br>・相手を見て「ご注文は、何にしますか」と伝え、相手の言葉を聞いて「〇〇ですね」と注文を繰り返す。 |    |
| D<br>(おすすめ係) | ・タブレットを使用し、「今日のおすすめドーナツ」を選んでお客さんに知らせる。  |    |

(3) 展開

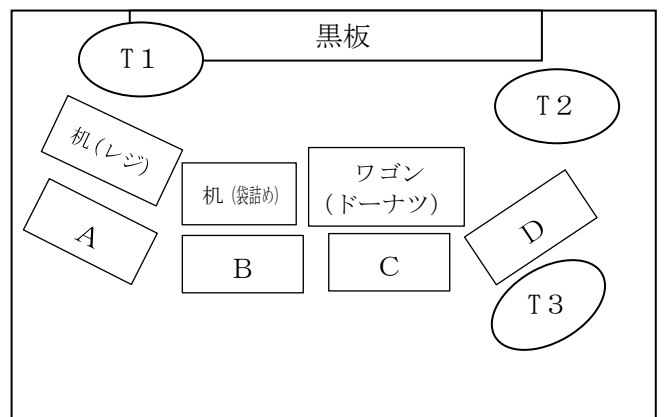
| 分  | 学習活動   | 本時の指導上の留意点<br>(自分の考えや思いを伝え合うための留意点)  | 準備物   |
|----|--|--|---|
| 10 | 1 本時の活動内容とめあてを知る。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドーナツ屋さんの学習に期待感がもてるように「ドーナツ つくろう」の歌を歌う。</li> <li>本時の活動が分かるように、単元計画表を提示し、前時を振り返る活動を設定する。</li> </ul>   | 歌詞カード<br>単元計画表  |
|    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             〈めあて〉じぶんのかかりをおぼえて ドーナツやさんのれんしゅうをしよう           </div> |  |   |
|    | 2 自分の係と頑張ることを知る。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の係が分かるように、係の絵や顔写真を使って説明する。</li> <li>自分が頑張ることが分かるように、個々の目標を絵カードにして提示する。</li> </ul>   | 係表<br>目標カード   |
| 25 | 3 ドーナツ屋さんの練習をする。<br>(1) ドーナツ屋さんの準備<br>(2) ドーナツワゴンを押しながら教室を歩く練習<br>(3) 接客練習<br>①挨拶<br>②おすすめ紹介<br>③注文をとる<br>④袋に入れる<br>⑤会計<br>⑥ドーナツを渡す<br>⑦挨拶   | <ul style="list-style-type: none"> <li>4年生がお客さんであることを想像しながら練習できるように、顔写真を提示する。</li> <li>(A) (C) が自分で係を進められるように、個々の手順カードを準備する。</li> <li>伝わったことが分かるように、<u>お客さんとして、児童の小さい声、うなずきなどを見逃さず、「○○ということですね」等と気持ちを代弁して、伝わったことを即時評価する。(T2)</u></li> <li>(C) がみんなをリードして挨拶できるように、そばで「せーの」と合図を出す。(T1)</li> <li>(D) がおすすめのドーナツを選んで紹介できるように、DropTap アプリで複数のドーナツの写真と音声を準備する。(T3)</li> <li>個々の児童が「<u>自分のおすすめのドーナツ</u>」を紹介する場面で、<u>恥ずかしくて声が出ない</u>のために、<u>ポップを準備する。</u></li> <li>自分で気付いて言葉や動きで接客ができるように、<u>ドーナツを選ぶときやお金を払うときの動作をゆっくりと行う。(T2)</u></li> <li>(B) が商品を渡せるように、(C) とペアで接客する場面を設定する。</li> <li>(A) が聞こえる声で値段を言い出せるように、「何円ですか」と質問する。(T2)</li> </ul> | 4年生の顔写真<br>接客手順表<br>手順カード<br>ワゴン<br>ドーナツ<br>模擬のお金<br>トレイ<br>模擬のレジ紙袋<br>タブレット<br>型端末<br>おすすめ用ポップ |
| 10 | 4 振り返りをする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li><u>活動を振り返り、短い文や単語で伝えられるように、「何係で」「何を」頑張ったかについて質問する。(T1)</u></li> <li>児童の頑張りが視覚的に分かるように、花丸カードを準備する。</li> <li>達成感を味わい、次の活動予定を確認できるように、単元計画表に花丸カードを貼る。</li> </ul>   | 係表<br>手順表<br>花丸カード<br>単元計画表   |

(4) 配置図や教材

【活動1・2】



【活動3・4】



【接客手順表】

～ドーナツ屋さんのおしごと～

|   |          |  |  |
|---|----------|--|--|
| ① | あいさつ     |  |  |
| ② | おすすめドーナツ |  |  |
| ③ | ちゅうもんをとる |  |  |
| ④ | ふくろにいれる  |  |  |
| ⑤ | おかいけい    |  |  |
| ⑥ | ドーナツをわたす |  |  |
| ⑦ | あいさつ     |  |  |

(5) 評価規準

- ・お客さんに伝わるように言葉や身振りで「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と挨拶をしていたか。
- ・自分の係で頑張ることが分かって、お客さんとやりとりをしながら接客していたか。